

3

食事（欠食・外食）状況

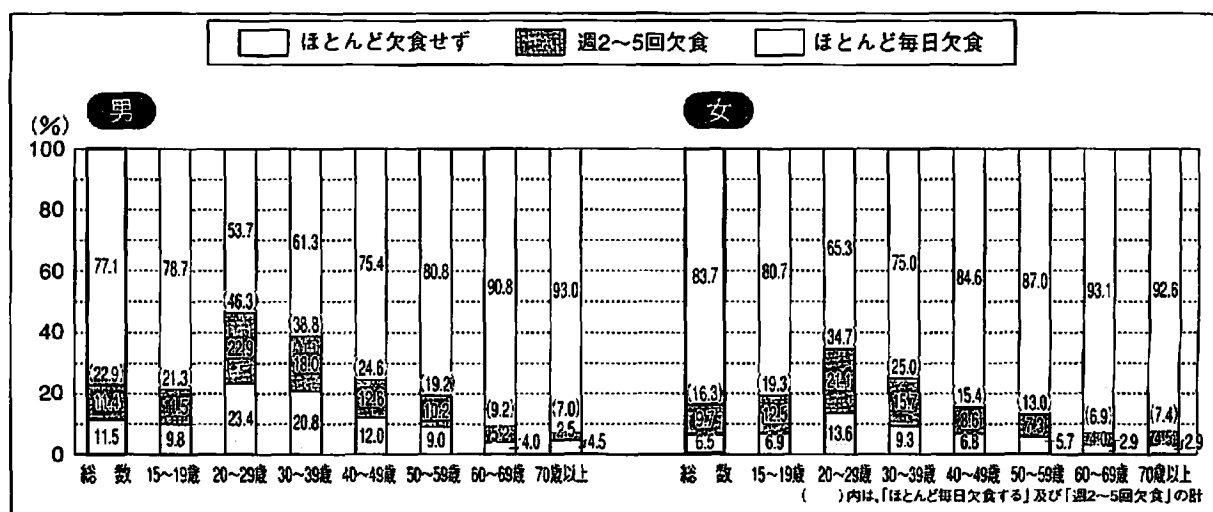
ふだん欠食をする習慣がある者の割合は、
20～29歳が最も多く男性で46.3%、女性で34.7%。

ふだん「ほとんど毎日欠食」または「週2～5回欠食」と回答した者（以下、「欠食習慣がある者」）は、図18のとおり、男女とも20～29歳が最も多く、男性で46.3%、女性で34.7%であった。ふだん「ほとんど毎日欠食」と回答した者は、20～39歳の男性で2割以

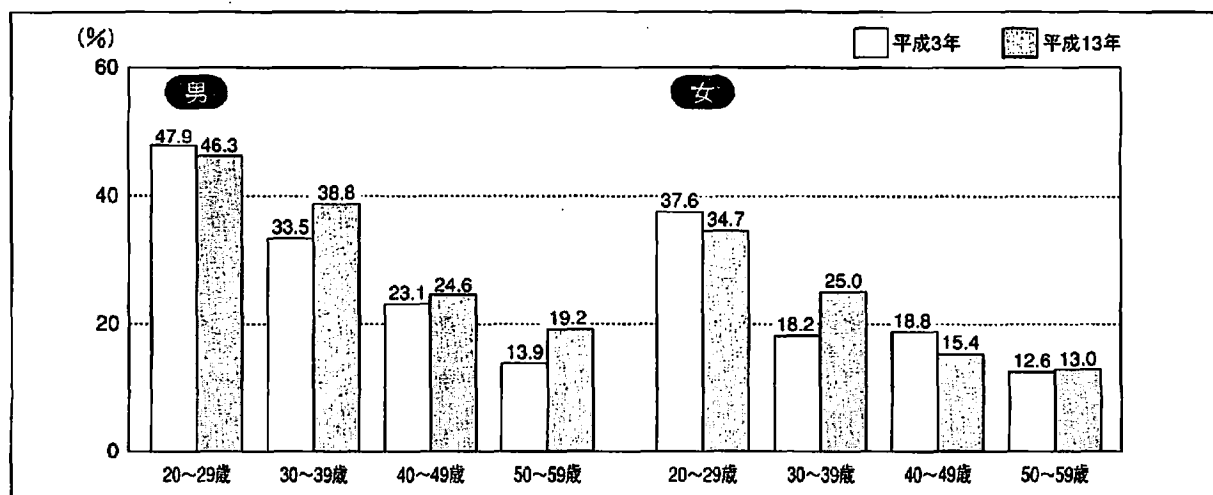
上、女性で約1割であった。

また、欠食習慣がある者の割合を平成3年の結果と比較すると、図19のとおり、男性では30～59歳で増加しており、女性では20歳代、40歳代では減少しているが、30歳代で増加していた。

◆図18◆ ふだんの欠食の頻度（性・年齢階級別）



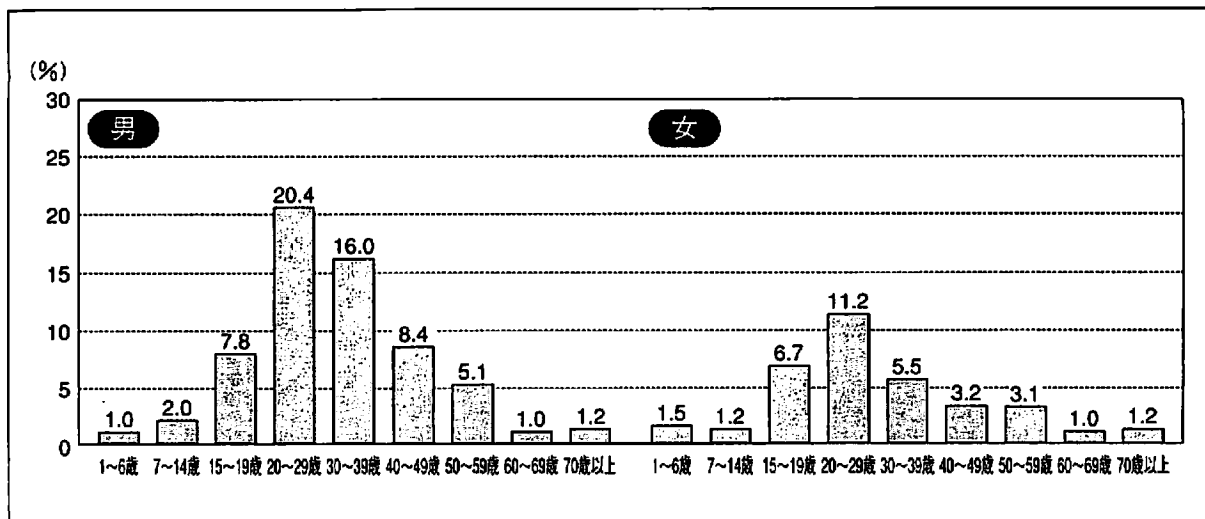
◆図19◆ 欠食習慣がある者の割合の変化（平成3年との比較）



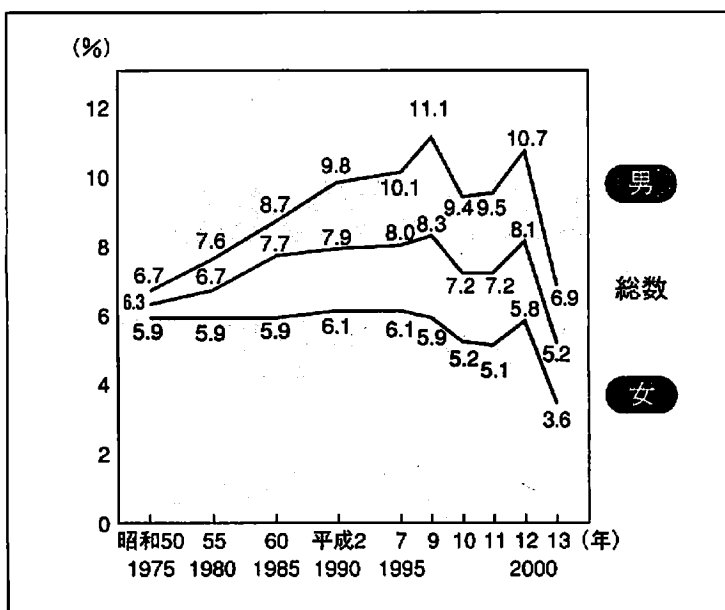
朝食の欠食率は、20歳代男性20.4%、女性11.2%で最も高率

性・年齢階級別に朝食の欠食率を示したのが 図20である。男女ともに15～19歳で欠食率が高くなり、20歳代で最も高く、男性20.4%、女性11.2%である。

◆図20◆ 朝食の欠食率（性・年齢階級別）



◆図21◆ 朝食欠食の年次推移（性別）

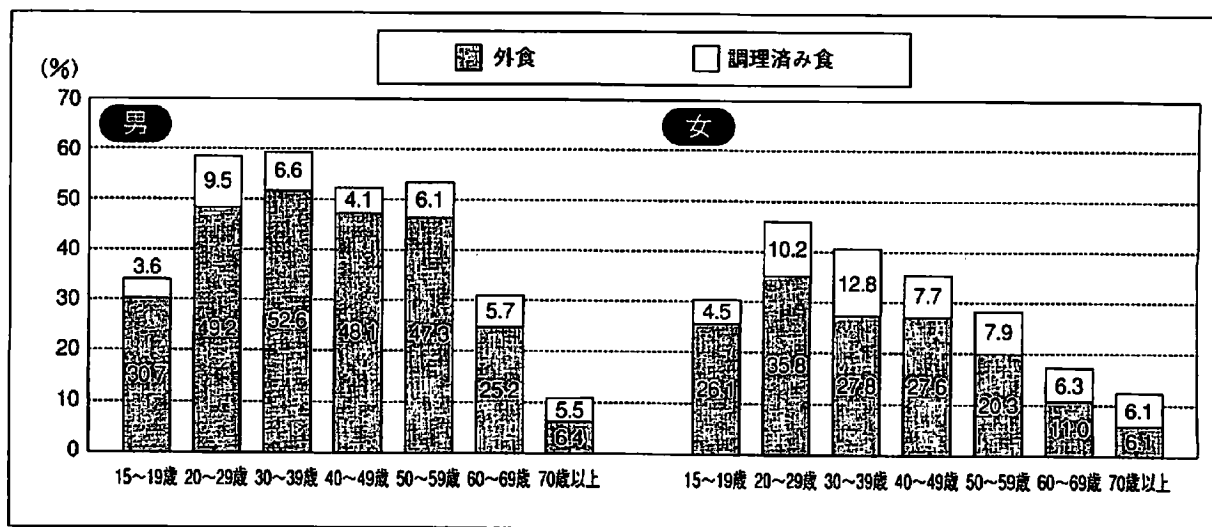


昼食の外食率は、20～50歳代男性で5割以上

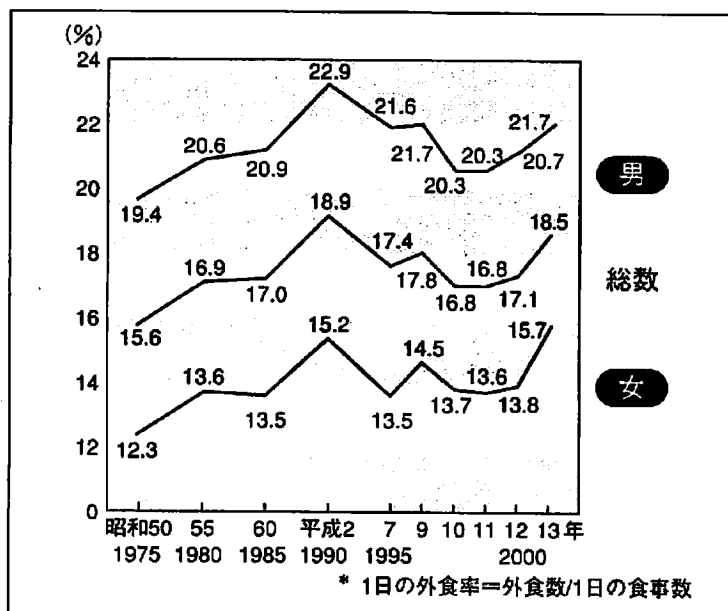
性・年齢階級別に昼食の外食率（調理済み食を含む）を示したのが、図22である。男性では20～50歳代で半数以上が昼食を外食もし

くは調理済み食ですませており、30歳代で最も高率である。女性では20歳代で46.0%と高率。

◆図22◆ 昼食の外食率（性・年齢階級別）



◆図23◆ 1日の外食率の年次推移*（性別）



注) 平成13年から外食率に、調理済み食が含まれている。